

平成22年度「市長への手紙」年報（概要）

1 受理状況

	通数	内容別件数
手紙・FAX	873	1,286
メール	495	662
合計	1,368	1,948

平成21年度と比較すると、手紙・FAXが73通増加、メールが28通減少しました。

(1) 局室別受理状況

上位5局で、全体の47.1%を占めています。

1位 建設緑政局（283件）、2位 健康福祉局（179件）、3位 まちづくり局（171件）
4位 こども本部（146件）、5位 教育委員会事務局（139件）

(2) 内容分類別の状況

内容別1,948件のうち、要望が55.4%（1,080件）、苦情が25.0%（487件）、提案が9.9%（192件）となっています。

(3) 内容内訳別の状況

- | | |
|------------------|---|
| 1位 道路改良・補修（139件） | ・道路や歩道の補修や拡幅、歩道の確保、段差解消の苦情や要望 |
| 2位 道路管理・占用（91件） | ・道路や駅周辺の広告物・看板に対する要望 |
| 3位 保育園・幼稚園（89件） | ・保育園への入所要望、保育園の入所選考基準の改善要望 |
| 4位 公園（71件） | ・遊具、トイレ、看板等の設置や補修の要望 |
| 5位 交通計画（51件） | ・鉄道の高架化や地下化の要望、地下鉄の整備の要望、南武線の快速運転に対する要望 |
| 5位 自転車対策（51件） | ・駐輪場の整備の要望、違法駐輪や放置自転車の撤去の要望 |

(4) 性別・年代別

性別 男性646、女性430、不明292

年代別 1位：30代、2位：40代、3位：60代（不明を除く。）

2 回答状況

内容別1,948件のうち、処理結果として、「要望等に対応した意見、施策や事業に反映又は参考にした意見」が83.3%（1,622件）となっています。

【要望等に対応した主な案件】

- ・「最近、不用品回収業者の車両のスピーカーの音量が度を超えている。大音量すぎて子供の昼寝ができない。なんとか規制はできないのか？」

→対応 「お問い合わせの不用品回収車からの拡声機騒音については、市内において、他の市民の方からも同様の相談を多くいただいているが、移動してしまうこと、業者の会社名も不明なことがほとんどのことから、対応に苦慮している状況である。ご自宅の周辺を定期的に巡回し、不用品回収車について指導したいと思うので相談してほしい。」

- ・「今回の大震災が起きたことで、新たに防災マップを市民に配布してほしい。」

→対応 「川崎市では防災マップを含んだ防災啓発冊子「備える。かわさき」を毎年発刊している。「備える。かわさき」は区役所の地域振興課内に設置している。希望する方に配布しており、いつでも渡すことができる。また、防災マップについては、市のホームページからでも閲覧できる。」